

事 務 連 絡
令 和 5 年 8 月 1 0 日

松原市医師会 様

松原市教育委員会事務局
教育推進課長 長尾 彰太郎

令和5年度 全国学校保健・安全研究大会の開催について(依頼)

標記について、別添(写)のとおり、大阪府教育庁教育振興室保健体育課長より依頼がありました。

つきましては、貴属の学校園医様に周知願うとともに、参加希望がありましたら、別添の「大会参加登録・宿泊・お弁当申込手続きのご案内」を参照し、直接申し込むよう連絡をお願いします。

連絡先

松原市教育委員会事務局 学校教育部

教育推進課 担当:天野 順子

〒580-8501 松原市阿保1丁目1番1号

TEL 072-334-1550(内線 2583)

TEL 072-337-3150(直通)

FAX 072-332-7720

E-mail suisin@matsubara.e-kokoro.ed.jp



教保第 1899 号
令和 5 年 8 月 7 日

市町村教育委員会
学校保健主管課長 様

大阪府教育庁教育振興室
保健体育課長

令和 5 年度 全国学校保健・安全研究大会の開催について（依頼）

標記大会について、別添のとおり兵庫県実行委員会長から依頼がありました。

つきましては、貴所管学校園の学校保健・学校安全関係者に周知いただき、参加についてご配慮をお願いします。なお、参加希望者は、別添の「大会参加登録・宿泊・お弁当申込手続きのご案内」を参照し、直接申し込むよう連絡をお願いします。

なお、参加に係る経費については、当課から担当しないことを申し添えます。

【連絡先】

大阪府教育庁 教育振興室 保健体育課

担当:村垣

TEL:06-6944-9365 FAX:06-6941-4815

E-mail: MuragakiA@mbox.pref.osaka.lg.jp

令和5年度 全国学校保健・安全研究大会 開催要項



TAJIMA
- 但馬 -



TAMBA
- 丹波 -

HARIMA
- 播磨 -



KOBE
HANSHIN
- 神戸・阪神 -



AWAJI
- 淡路 -



令和5年度
全国学校保健・安全研究大会
兵庫県実行委員会



ひょうごフィールドパビリオン

令和5年度全国学校保健・安全研究大会 開催要項

1 趣 旨

我が国における少子高齢化や疾病構造の変化、さらには地球温暖化に伴う気候変動など、近年の社会環境や自然環境の急激な変化は、我々人間の心身に様々な影響を及ぼしている。特に今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、子供たちの生活リズムの乱れやストレス等の健康課題が指摘されている。また、学校内外においても、子供が被害に遭う事件・事故への対応など、学校管理下における児童生徒の安全確保が重要な課題となっている。

さらには、東日本大震災等の経験や教訓を踏まえた「防災教育・訓練」の充実や、原子力災害への対応など、災害発生時に命を守るための正しい知識の習得や日頃の備えの重要性がますます高まってきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。

本大会は多年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、諸課題について研究協議を行い、学校保健・学校安全の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～自ら健康課題の解決に取り組み、未来を切り拓く子供の育成～

3 主 催

文部科学省、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人日本学校保健会、
兵庫県学校保健会

4 期 日

令和5年10月26日（木）・27日（金）

5 開催方法

参集開催及び後日オンデマンド配信

6 開催地及び会場

開 催 地	兵庫県神戸市
会 場	神戸文化ホール・神戸市立中央体育館

7 内 容

(1) 全体会

- ・ 開会式
- ・ 表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

- ・ 記念講演

講演内容 「ネット・ゲーム依存の成り立ちと対応」

講 師 神戸大学大学院医学研究科・医学部

デジタル精神医学部門 特命教授 曾良 一郎

(2) 課題別研究協議会（別表）

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

(3) 全国学校保健会中央大会

8 日程及び内容

【1日目】10月26日（木）

11:30	12:00	12:30	13:00	14:00	14:40	14:50	16:20
	一般参加者 受 付		【開会式】 【表彰式】	【受賞伝達式】 ・学校保健 ・学校安全	休 憩		【記念講演】
	受賞者 受 付	受賞者 打合せ					

【2日目】10月27日（金）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30
受付	【課題別研究協議会】（5 課題）		昼食 休憩	【課題別研究協議会】（5 課題）
				全国学校保健会中央大会

9 参加対象者

- (1) 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当、その他の教職員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健、学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) P T A 会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

10 資料代 3,000円 ※参加形態を問わず一律

11 関係団体が主催する行事

- (1) 第54回全国学校保健・学校医大会 令和5年10月28日（土）
- (2) 第73回全国学校歯科医協議会 令和5年10月26日（木）
- (3) 第73回全国学校薬剤師大会 令和5年10月26日（木）

12 全体会及び課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会会場

【1日目】令和5年10月26日（木）全体会・受賞伝達式

内 容	会 場
全体会（開会式・表彰式・記念講演）	神戸文化ホール 大ホール
受賞伝達式（学校保健表彰）	神戸文化ホール 大ホール
受賞伝達式（学校安全表彰・ 学校安全ボランティア活動奨励賞）	神戸文化ホール 中ホール

【2日目】令和5年10月27日（金）課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会
 <午前の部> 9:30～12:00（9:00開場）

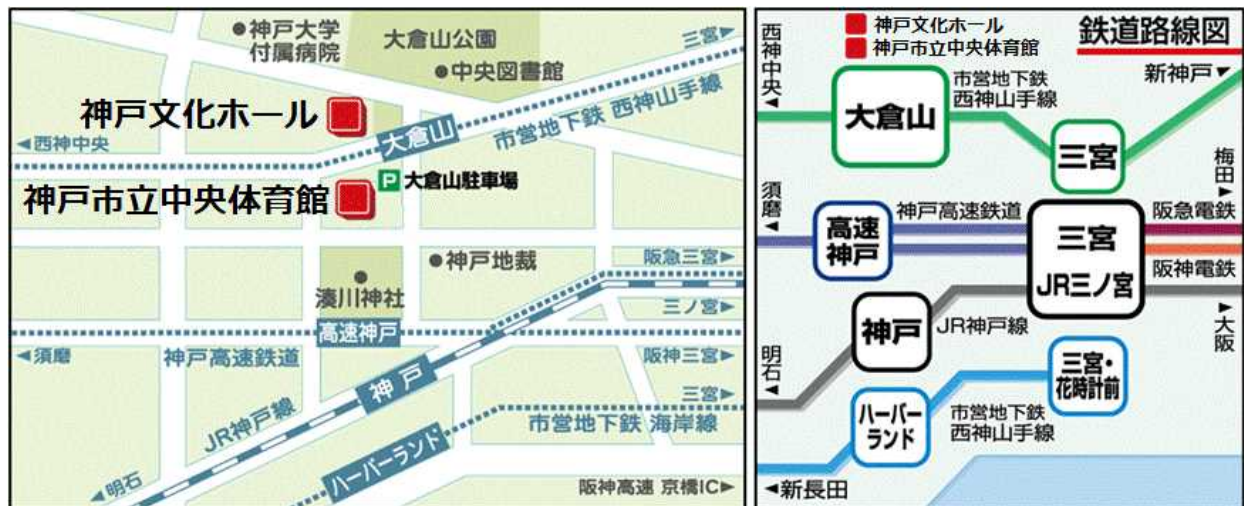
内 容	会 場
第2課題（保健管理）	神戸文化ホール 中ホール
第4課題（現代的健康課題）	神戸文化ホール 大ホール
第6課題（学校環境衛生）	神戸市立中央体育館 第1体育室
第8課題（学校事故防止対策）	神戸市立中央体育館 競技場
第9課題（教科等における安全教育）	神戸市立中央体育館 第2体育室

<午後の部> 13:00～15:30

内 容	会 場
第7課題（喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育）	神戸文化ホール 中ホール
第3課題（心の健康）	神戸文化ホール 大ホール
第1課題（学校経営と保健組織活動）	神戸市立中央体育館 第1体育室
第5課題（歯・口の健康づくり）	神戸市立中央体育館 競技場
第10課題 （関係機関等との連携による安全の体制整備）	神戸市立中央体育館 第2体育室
全国学校保健会中央大会	神戸文化ホール リハーサル室

※参加希望人数等により、会場を変更する場合があります。

13 大会会場へのアクセスについて



鉄道利用

神戸市営地下鉄 「西神・山手線」	「大倉山」駅より徒歩1分 西1番出口より右手すぐのところにあります。
J R (在来線)	「神戸」駅より徒歩10分 中央口改札を出て左にある北出口から北へ進んでください。
各種私鉄	「高速神戸」駅より徒歩8分 東口改札を出て右にある楠公出口から北へ進んでください。
神戸市営地下鉄 「海岸線」	「ハーバーランド」駅より徒歩12分 出口1と表示された方向へお進み頂き JR 神戸駅から北へ進んでください。
J R (新幹線)	「新神戸」駅より神戸市営地下鉄「西神・山手線」をご利用ください。

航空機利用

神戸空港	神戸新交通「ポートアイランド線」 神戸市営地下鉄「西神・山手線」	神戸空港 → 三ノ宮 三宮 → 大倉山
伊丹空港	伊丹市営バス 阪急電鉄	大阪国際空港 → 阪急伊丹 塚口 → 高速神戸
	大阪モノレール 阪急電鉄 神戸市営地下鉄「西神・山手線」	大阪空港 → 蛍池 蛍池 → 神戸三宮 三宮 → 大倉山

神戸文化ホール：https://www.kobe-bunka.jp/hall/about_hall/573/

神戸中央体育館：<https://kobechuo-gym.jp/access/>

〔別表〕 令和5年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方 自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 現代的な健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心を持ち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 1 課 題	学校経営と保健組織活動	① 兵庫県立西宮北高等学校 校 長 宮 本 美 枝 子	○講 師 愛知教育大学 准教授 山 田 浩 平 ○指導助言者（コーディネーター） 高島市教育委員会事務局 学校教育課 主 監 中 原 い ず み
		② 埼玉県戸田市立戸田第二小学校 教 頭 菊 地 奈 津 子	
		③ 和歌山県立桐蔭中学校 養護教諭 堺 亜 紀 子 和歌山県立桐蔭高等学校 養護教諭 名 倉 行 子	
第 2 課 題	保健管理	① 長野県上田市立西内小学校 養護教諭 小 林 和 子	○講 師 びわこ学院大学 教 授 岩 崎 信 子 ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県教育局県立学校部 保健体育課 指導主事 澤 村 文 香
		② 兵庫県宍粟市立千種中学校 養護教諭 山 本 美 紀	
		③ 滋賀県立甲良養護学校 養護教諭 若 林 弓 恵	
第 3 課 題	心の健康	① 埼玉県立いずみ高等学校 養護教諭 片 寄 ゆ う や	○講 師 社会福祉法人別府発達医療センター 大分療育センター 所 長 清 田 晃 生 ○指導助言者（コーディネーター） 川崎市教育委員会学校教育部会 健康教育課 指導主事 築 部 め ぐ み
		② 神戸市立長尾小学校 主幹教諭 松 本 亜 由 美	
		③ 大阪市立友渕中学校 教 諭 宮 村 昭 寛	
第 4 課 題	現代的健康課題	① 兵庫県養父市立八鹿小学校 養護教諭 藤 原 良 子	○講 師 横浜国立大学 教 授 物 部 博 文 ○指導助言者（コーディネーター） 神奈川県立総合教育センター 指導研究課 課 長 斎 藤 祐 介
		② 愛知県立みあい特別支援学校 教 諭 松 本 陽 子	
		③ 京都府京丹波町立和知中学校 養護教諭 吉 田 芳 子	
第 5 課 題	歯・口の健康づくり	① 大阪府立なにわ高等支援学校 保健主事 寺 井 基 起	○講 師 明海大学 名誉教授 安 井 利 一 ○指導助言者（コーディネーター） 品川区教育委員会事務局 教育総合支援センター 特別支援教育担当課長 唐 澤 好 彦
		② 茨城県大洗町立南中学校 養護教諭 追 田 祐 子	
		③ 兵庫県姫路市立御国野小学校 養護教諭 黒 田 真 未	

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	<p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	<p>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</p> <p>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</p> <p>③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について</p>
第7課題	喫煙、 飲酒、 薬物乱用 防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	<p>青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用は、様々な健康影響を引き起こしたり、事故等の社会的な問題の要因となったりすることから、学校の教育活動全体を通じて指導が行われる必要がある。</p> <p>そのため、発達段階を考慮した、喫煙や飲酒、薬物乱用の効果的な防止教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</p> <p>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p> <p>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p>
第8課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	<p>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</p> <p>② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</p> <p>③ 事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について</p>
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</p> <p>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</p> <p>③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について</p>
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	<p>学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	<p>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</p> <p>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</p> <p>③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について</p>

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 6 課 題	学校環境衛生	① 岐阜県立岐阜北高等学校 養護教諭 川 田 由美子 学校薬剤師 望 月 祐 子	○講 師 岐阜医療科学大学 教授 永 瀬 久 光 ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県教育局県立学校部 保健体育課 健康教育・学校安全担当主幹 脇 田 一 亮
		② 奈良県大和郡山市立片桐中学校 養護教諭 森 三恵子	
		③ 神戸市立和田岬小学校 学校薬剤師 安 田 理恵子 養護教諭 森 本 綾 子	
第 7 課 題	喫煙、 飲酒、 薬物乱用 防止教育	① 京都市立川岡小学校 校 長 中 村 佳 明	○講 師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成 瀬 暢 也 ○指導助言者（コーディネーター） 鹿児島県始良市立始良小学校 校 長 楠 生 勝 宏
		② 兵庫県立阪神昆陽高等学校 教 諭 奥 田 諒太朗	
		③ 山形県村山市立楯岡中学校 教 諭 齊 藤 洋 子	
第 8 課 題	学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部調査課 課 長 後 藤 元 子	○講 師 東京学芸大学 名誉教授 渡 邊 正 樹 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都葛飾区立花の木小学校 校 長 伊 藤 進
		② 神奈川県平塚市立土屋小学校 校 長 五十嵐 透	
		③ 京都市教育委員会事務局体育健康教育室 主任指導主事 西 田 鉄 平	
第 9 課 題	教科等における安全教育	① 京都市立明親小学校 教 諭 秋 元 尚 子	○講 師 高知県土佐市立蓮池小学校 校 長 吉 門 直 子 ○指導助言者（コーディネーター） 佐賀県立武雄高等学校 教 諭 碓 竜 治
		② 高知県立山田特別支援学校 教 頭 三 好 喜 久	
		③ 国立大学法人兵庫教育大学附属幼稚園 園 長 森 田 啓 之	
第 10 課 題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 大阪府高槻市立寿永小学校 教 諭 高 松 涼	○講 師 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 矢 守 克 也 ○指導助言者（コーディネーター） 京都市立納所小学校 教 頭 別 井 真 一
		② 愛媛県新居浜市立東中学校 校 長 山 本 基 二	
		③ 兵庫県立東播磨高等学校 主幹教諭 福 村 順 一	